

平成16年 労使関係総合調査  
労使コミュニケーション調査票B(個人用)

都道府県番号 事業所一連番号 労働者番号

1	2	3
---	---	---

この調査票に記入された事項については、統計以外の目的に使ったり、他にもらすことはありませんので、ありのままに記入してください。

以下の質問をよく読んで自分に当てはまる回答の番号に○をつけてください。

1) 回答は、特に断りのない限り、当てはまる番号を1つだけ選んでください。

なお、複数回答の可能性のあるものは、回答欄が 

1	2
---	---

 のように網掛けになっています。

2) 特に断りのない限り、平成16年6月30日現在の状況について答えてください。

I 個人の属性に関する事項

1 性

男	女
1	2

 4

2 年齢

20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
1	2	3	4	5	6

 5

3 勤続年数(現在の会社に入ってから年数)

1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上
1	2	3	4	5

 6

4 職種

事務職	技術・研究職	生産・労務職	販売・サービス職	その他
1	2	3	4	5

 7

5 就業形態

一般労働者	パートタイム労働者	その他
1	2	3

 8

6 役職(世間的に近いものを選んでください。)

課長クラス以上	係長クラス	役職なし
1	2	3

 9

## II 労使コミュニケーション全般に関する事項

問1 あなたの事業所での労使コミュニケーション(労使間の意思疎通。以下同じ)は、どの程度良好ですか。

非常に良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	非常に悪い
1	2	3	4	5

10

問2 あなたは労使の円滑なコミュニケーションを実現する上で、どういう面での意思疎通を重視しますか。

(該当するすべての番号を○で囲んでください。)

経営情報・計画、組織変更、新商品・サービス開発	日常業務改善	作業環境改善	職場の人間関係	人事(人員配置・出向、昇進・昇格、定年制)	賃金、労働時間等労働条件	教育訓練	福利厚生、文化・体育・レジャー活動	その他
1	2	3	4	5	6	7	8	9

11

## III 労働組合に関する意識

問3 労働組合について教えてください。

(1) あなたは労働組合に加入していますか。

加入している	加入していない
1	2

12

(2) 労働組合について、どの程度必要であると考えていますか。

是非必要である	1
どちらかといえば必要である	2
どちらともいえない	3
必要ではない	4

13

(3) 労使コミュニケーションにおいて労働組合に期待する役割はつぎのどれですか。  
(該当するすべての番号を○で囲んでください。)

日常活動を通じての労使関係の育成	労働者の意見の代弁	各種要求獲得	苦情解決のための支援	円滑な人間関係の構築	労働者の経営参加に関する事	経営情報の提供	その他
1	2	3	4	5	6	7	8

14

## IV 労使協議機関に関する事項

問4 あなたの事業所又は会社には労使協議機関(経営、生産、労働条件、福利厚生等の事項を労使で協議する機関)がありますか。

あり	なし	わからない
1	2	3

15

問5へ進んでください。

Vの問6へ進んでください。

問5 あなたの事業所又は会社の労使協議機関についてお答えください。

(1) 労使協議機関の協議内容、その結果について、どのような方法(電子化したものも含む)で知ることができますか。

(該当するすべての番号を○で囲んでください。)

朝礼、職場懇談会等	労働組合の広報資料等	社内報等	労使協議会報	その他
1	2	3	4	5

16

(2) 労使協議機関での協議内容、その結果についてどの程度知っていますか。

大体知っている	一部知っている	ほとんど知らない
1	2	3

17

## V 個人の処遇等に関する不平、不満の処理方法

問6 個人の処遇等について

- (1) 過去1年間(平成15年7月1日から平成16年6月30日までの期間)に、あなた自身の処遇等についての不平、不満を事業所に申し立てたことがありますか。

あり	1
なし	2

18

- (2) 不平、不満の内容はどんなものでしたか。  
(該当する全ての番号を○で囲んでください。)

日常業務の運営に関すること	1
人事(人員配置・出向、昇進・昇格、定年制)に関すること	2
教育訓練等に関すること	3
賃金、労働時間等労働条件に関すること	4
安全衛生に関すること	5
福利厚生に関すること	6
人間関係に関すること	7
男女差別、セクハラに関すること	8
その他	9

19

- (3) どのような方法で申し立てましたか。  
(該当するすべての番号を○で囲んでください。)

直接上司へ	自己申告制度によって	労働組合を通して	苦情処理委員会等の機関へ	その他
1	2	3	4	5

20

- (4) 不平、不満を申し立てた結果は、おおむねどのようなものでしたか。

納得のいく結果が得られた	検討中のようなものである	納得のいく結果は得られなかった	その他
1	2	3	4

21

- (5) なぜ不平、不満を申し立てたことがないのですか。

特に不平、不満がないから	申し立てたところでどうにもならないから	不平、不満を申し立てる正式のルートがないから	その他
1	2	3	4

22

## VI 今後重視するコミュニケーション手段

問7 円滑なコミュニケーションを実現するため、あなたの働いている事業所が今後重視すべき手段は次のどれだと思いますか。

(該当するすべての番号を○で囲んでください。)

労使協議機関	職場懇談会	従業員組織(社員会)	自己申告制度	苦情処理機関	小集団活動	提案制度(投書箱・目安箱)	従業員意識調査	人事担当者による巡回、個人面談	社内報	その他
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11

23

以上で質問は全て終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。  
封筒に入れ、封をして事業所の担当者にお渡しください。